

第13分科会「キャリア教育」 運営概要

【研究課題】

勤労観・職業観を育むキャリア教育の推進と校長の在り方

【リーダーシップの視点】

- 1 自尊感情を高め、自己や他者への積極的関心を形成・発展させる教育課程の編成
- 2 身の回りの仕事や環境に関心をもち、目標に向かって努力する態度の育成

I 分科会研究協議の運営計画

〈リーダーシップの視点1について〉

キャリア教育を通じて、働くことや夢を持つことの大切さを理解し、自尊感情を高め、自己及び他者への積極的な関心を形成していけるよう、各教科・領域等を積極的・横断的に指導していく体制の整備も含め、教育課程の編成における校長の果たす役割と指導性を明らかにする。

〈リーダーシップの視点2について〉

働くことに対する実感的な理解を深め、他者と関わる力を育成し、社会生活の中での責任や勤労などの概念を理解・定着させる校長の役割と指導性について究明する。

II これまでの成果と課題

～上川大会から～

【成果】

- ・小学校における「キャリア教育」の目指す方向性についての共通理解
- ・既存の教育活動を見直し、「キャリア教育」の断片を関連づけることが、「学習意欲」を向上させ、「学ぶ意義」を自覚させることにつながる。
- ・小学校における「キャリア教育」では、「基礎的・汎用的な能力」の育成を目的とする。

【課題】

- ・自校のキャリア教育推進における課題意識と、推進するための具体的な方策の在り方
- ・キャリア教育についての教職員や家庭・地域への周知と連携の在り方
- ・キャリア教育についてのマネジメントサイクル（PDCA）の確立

～渡島・北斗大会～

【成果】

- ・キャリア教育推進のために、体系的、系統的に指導できるような計画を作っていくことが重要。
- ・職業体験だけでなく、目的意識をもって学ばせることが大事。

【課題】

- ・キャリア教育を自校化するために、方向性と推進組織体を確立していくこと。
- ・自校児童の実態を見つめなおし、管理職レベルで課題を明確化すること。

Ⅲ 研究発表の概要

○研究発表者 旭川市立末広北小学校長 林 邦子先生

○発表題 「一人一人の社会的、職業的自立に向けた基盤形成を図る

キャリア教育の推進と校長の在り方」

○発表要旨

《提言１》

キャリア教育の視点の明確化と浸透化を図る教育課程の編成と校内体制づくり

- ① 学校経営におけるキャリア教育の明確な位置付け
- ② キャリア教育の浸透化を図る教育課程の編成
- ③ キャリア教育を推進する校内体制づくり

《提言２》

社会生活の中での責任や勤労の概念を実感的に理解・定着させる教育活動の充実

- ① 社会生活の中での責任や役割について実感的に理解・定着させる校長の役割
- ② 社会生活の中での責任や役割について実感的に理解・定着させる教育活動の展開

Ⅳ 協議の流れ（１３：００～１６：３０）

- １ 開会 １３：００～１３：０５（５分）
- ２ 趣旨説明 １３：０５～１３：２０（１５分）
- ３ 研究発表 １３：２０～１３：５０（３０分）
- ４ 研究協議
 - （１）全体協議 １３：５０～１４：１０（２０分）
 - （２）休憩 １４：１０～１４：２０（１０分）
 - （３）グループ協議 １４：２０～１５：３０（７０分）

討議の柱

 - １．キャリア教育を具現化する教育課程への位置付けとは
 - ２．キャリア教育を推進する教職員の意識改革とは
 - ３．キャリア教育の目指す子どもの姿とは

※討議の柱から２本（課題１本と選択１本）をグループごとに討議する。
 - （４）休憩 １５：３０～１５：４０（１０分）
 - （５）グループ発表 １５：４０～１６：１０（３０分）
- ５ 研究協議のまとめと今後の課題 １６：１０～１６：２５（１５分）
- ６ 閉会 １６：２５～１６：３０（５分）

※お願い：グループ協議で使用しますので、「名刺」（６～７枚）をご持参ください。

（文責： 札幌市立大谷地小学校 小林 一三）